

山口県公認心理師協会 令和7年度（2025年度）総会

日時 2025年7月6日（日）10：00～12：00

場所 山口県公認心理師協会事務局（宇部市文京台二丁目1-1 宇部フロンティア大学内）ウェブ開催

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議長選出
- 4 総会定数報告

5 議事

I 審議事項

1）第1号議案：2024年度事業報告（各委員会事業報告ならびに決算・会計監査報告）について

- ・研修
- ・医療保健領域委員会
- ・教育領域委員会
- ・被害者支援委員会
- ・倫理委員会
- ・福祉領域委員会
- ・産業・組織領域委員会
- ・司法矯正領域委員会
- ・災害支援プロジェクトチーム
- ・自死予防専門委員会
- ・引きこもり対策専門委員会
- ・事務局

2）第2号議案：2025年度 理事の承認について

3）第3号議案：2025年度事業計画案（各委員会事業計画ならびに予算案）について

- ・研修
- ・医療保健領域委員会
- ・教育領域委員会
- ・被害者支援委員会
- ・倫理委員会
- ・福祉領域委員会
- ・産業・組織領域委員会
- ・司法矯正領域委員会
- ・災害支援プロジェクトチーム
- ・自死予防専門委員会
- ・引きこもり対策専門委員会
- ・事務局

4）第4号議案：倫理綱領・倫理規定の改正について

5）その他

II 報告・お知らせ

- 6 議長解任
- 7 閉会

研修

担当理事：全理事（主担当：榊本俊哉）

2024 年度 活動報告

山口県公認心理師協会主催研修会

（公認心理師の専門認定単位承認済み・臨床心理士資格更新のための 4 群ポイント申請済みの研修会）

【第 1 回全体研修会】

期日：令和 6 年（2024 年）6 月 16 日（日）

テーマ：「その場で関わるスクールカウンセラー事例検討会ー」

講師：榊本俊哉先生（宇部フロンティア大学）

【第 2 回全体研修会：教育領域共催】

期日：令和 6 年（2024 年）7 月 28 日（日）

テーマ：「学校緊急支援の理論と実際」

講師：窪田由紀先生（九州産業大学）

【第 3 回全体研修会：医療保健領域共催】

期日：令和 6 年（2024 年）10 月 14 日（月・祝）

テーマ：「発達障害の子どもが生き抜いていく支援とは？」

講師：渡部京太先生（群馬病院診療部長）

【第 4 回全体研修会：福祉領域共催】

期日：令和 7 年（2025 年）1 月 26 日（日） オンライン開催（Zoom）

テーマ：「公認心理師に求められるヤングケアラーの基礎知識」

「子ども家庭支援における包括的アセスメント」

講師：堀越栄子先生（日本ヤングケアラー連盟 代表理事）

増沢高先生（子どもの虹研修センター 副センター長）

【第 5 回全体研修会：司法矯正領域共催】

期日：令和 7 年（2025 年）2 月 16 日（日） オンライン開催（Zoom）

テーマ：離婚紛争と子ども 一家事司法の場での関与と課題ー

講師：田高 誠 先生（広島家庭裁判所）

山口県公認心理師協会 2024 年度 基礎研修会

（公認心理師の専門認定・臨床心理士資格更新のための研修機会としては申請していません。）

「精神科臨床の基礎」「心理アセスメントの基礎」原田雅史先生（小郡まきはら病院）

「心理アセスメントの基礎～知能検査編」永富徹志先生（鼓ヶ浦こども医療福祉センター）

「支援を必要とする児童生徒の見立て」榊本俊哉先生（宇部フロンティア大学）

「児童生徒の問題行動の理解と支援」榊本俊哉先生（宇部フロンティア大学）

「発達障害の心理臨床」「精神病理学入門」原田雅史先生（小郡まきはら病院）

医療保健領域委員会

担当理事：山野上典子・永富徹志（協力委員：坂本珠恵）

2024 年度 活動報告

1. 研修会の開催

令和6年（2024年）10月14日（月・祝）10：00～16：00 対面開催
研修テーマ「発達障害の子どもが生き抜いていく支援とは？」
講師：渡部京太先生（群馬病院 診療部長）

2. 日本臨床心理士会団体会員 医療保健領域担当者会議

日時：令和7年（2025年）2月24日（月・祝）9：30～12：00（オンライン）
内容：各県より取り組み報告・グループディスカッション等

3. 医療保健領域メーリングリストの継続

目的：医療機関の特色を知る
会員間の情報交換・交流の場を持つ

4. 山口県医師会母子保健委員会 母子保健領域における心理職との連携を図るための研修会 共催

5. 令和6年度山口県エイズ派遣カウンセラー登録名簿の作成

<会計報告>

【収入の部】

繰越金	196,073 円
活動費	40,000 円
合計	236,073 円

【支出の部】

合計	0 円
----	-----

【次年度繰越金】

236,073 円

教育領域委員会

担当理事：松尾尚子（理事）、原田梨沙（コーディネーター）

2024 年度 活動報告

1) SC 理事・コーディネーターによる全国会議への参加

2024年10月14日（土）10：00～12：00 ＊オンライン会議
第57回「学校臨床心理士」担当理事・コーディネーター全国連絡会議
コーディネーター：原田出席

2) 委員会の運営（委員会の開催）

各地区における情報共有や全体研修会の企画運営、推薦案作成等のために委員会を開催した。

3) 委員会組織

理事：松尾 コーディネーター：原田
研修(連絡協議会含む)：木元、米田、前田、吉田
会計：江藤
推薦案作成・後方支援：武田・杉浦
緊急支援：松井・名村
SV：武居、林
事務局：梶本

4) 地区別研修会の運営

7 地区において、地区委員を中心に各地区 3～10 回程度の研修を実施した。

5) 全体研修会の運営・教育領域委員会主催研修会の開催

令 6 年 7 月 28 日（日） 10：00～16：00 （山口大学）
「緊急支援対応」についての研修会

6) 新規 SC のフォローアップ

7) 県教委との情報交換

SC 理事・コーディネーターを中心に、県内における SC 活動について、県教委と随時情報交換を行い、連携体制を推進した。

8) 地区委員による各市町教委との情報交換

地区委員を中心に各市町教委と随時情報交換を行った。人材派遣等、必要時には連携し SC の推薦を行った。

9) いじめ対策協議会及び第三者調査委員会への委員の推薦

各市町の要請に応じて委員の推薦を行った。会議等への参加依頼があった場合、出席し協議を行った。

10) 緊急支援等の対応

緊急支援事案等においては理事・コーディネーターを窓口、各地区委員を中心として各校 SC 活動の体制を構築し、後方支援等も行った。

11) SC 推薦案の作成

円滑な推薦案作成のため、担当者を中心に準備体制を強化した。新規推薦希望者には県教委と面接を実施し、人材の選考を行った。それらを踏まえ、教育領域委員会にて令和 7 年度の SC 推薦案作成を行い、理事会へ提出した。

12) スーパーヴァイズ（SV）制度の推進

SV リストの改訂、および、特に新規採用者がスーパーヴァイザーの確保・相談しやすい体制の推進に務めた。

13) 会計報告

R6 公認心理師協会 教育領域 収支表						
	日付	詳細	収入	支出	残高	備考
1		R5繰越金	1,013,153			
2		R6会員費	900,020			
3	R6.3.31	新人研修・所管説明日当		85,000		地区委員 1 4 名
4		交通費		43,740		地区委員 1 4 名
5		研修諸経費		33,167		
6	R5.4.1	役職手当		20,000		理事・Co.
7		地区委員活動費		98,000		地区委員 1 4 名
8	R6.4.12	県教委訪問		1,000		理事
9		交通費		360		理事
10		レターパック代		520		
11	R6.4.18	市教委訪問		2,000		地区委員 2 名
12	R6.4.23	市教委訪問		2,000		地区委員 2 名
13	R6.4.24	県教委訪問		5,000		理事
14		交通費		360		理事
15	R6.5.7	地区委員会議		50,000		地区委員 1 0 名
16	R6.6.19	地区委員会議		70,000		地区委員 1 4 名
17	R6.7.8	公認心理師協会補助金	20,000			
18	R6.7.20	総会資料作成		10,000		地区委員 2 名
19	R6.7.28	研修会・地区委員会議		55,000		地区委員 1 1 名
20	R6.8.19	利息	83			
21	R6.8.22	県教委訪問		1,000		理事
22		FRアドバイザー会議		5,000		理事
23		交通費		360		理事
24	R6.10.7	県教委連絡会		4,000		理事・Co.
25	R6.11.13	地区委員会議		70,000		地区委員 1 4 名
26	R6.12.10	SC説明会①		2,000		理事・Co.
27	R7.1.9	SC説明会②		2,000		理事・Co.
28	R7.1.30	県教委訪問		1,000		理事
29		交通費		360		理事
30	R7.2.1	新規採用希望者面接①		20,000		地区委員 3 名・春日先生
31		交通費		11,540		地区委員 3 名・春日先生
32		諸経費		9,298		
33	R7.2.4	新規採用希望者面接②Web		3,000		地区委員 3 名
34	R7.2.9	次年度SC推薦会議		70,000		地区委員 1 4 名
35		交通費		43,740		地区委員 1 4 名
36		諸経費		17,164		
37	R7.2.17	利息	571			
38	R7.3.10	中部ブロック研修会		1,000		理事
39	R7.3.17	県教委連絡会		4,000		理事・Co.
40	R6.4～R7.3	SC研修会地区委員日当		106,630		地区委員 1 1 名
41	R6.4～R7.4	地区委員活動報告		43,000		地区委員 3 名
42	R7.5.13	会費返金		1,880		4 名
43	R7.5.13	振込手数料		660		山口銀行
44	R7.5.15	地区委員報酬 振込手数料		5,170		山口銀行・ゆうちょ銀行
		合計	1,933,827	898,949	1,034,878	

令和 7 年 5 月 2 7 日 監査名 菅 高志

被害者支援委員会

担当理事：春日由美

2024年度 活動報告

1. 公共機関の委員
 - ・ 山口県被害者支援連絡協議会
 - ・ 山口県犯罪被害者等支援施策評価委員
 - ・ 山口県女性支援調整会議
2. 民間被害者支援団体の委員
 - ・ 公益社団法人山口被害者支援センター（理事）
3. 関係機関の被害者支援活動への協力
 - ・ 山口県警察犯罪被害者等支援事業（登録カウンセラー22名）
 - ・ 山口県性暴力被害者支援事業（登録カウンセラー23名）
 - ・ 山口県被害者支援連絡協議会分科会性犯罪被害
 - ・ 山口県被害者支援連絡協議会分科会DVストーカー被害
 - ・ 山口県被害者支援連絡協議会分科会被害少年分科会

5. 会計報告

収入の部

繰越金	28,190 円
-----	----------

活動費	10,000 円
-----	----------

合計	38,190 円
----	----------

支出の部

会員日当（山口被害者支援センター出席 2 回）	13,000 円
-------------------------	----------

合計	13,000 円
----	----------

次年度繰越金	25,190 円
--------	----------

倫理委員会

担当理事：春日由美

2024 年度 活動報告

1. 倫理問題への対応

2024 年度、山口県公認心理師協会に会員の倫理に関する申し立てが 1 件（2 名）あった。申し立てを受理した倫理委員会は倫理綱領に沿って事実関係を精査し、このうち、1 名については倫理綱領に抵触する行為があったことが認められ、処遇として「一定期間内の会員活動の停止」とすることが理事会にて承認された。

2. 日本臨床心理士会 倫理担当者会議・研修会への出席

日時 2025 年 2 月 23 日（日）10：00～12：30（オンライン開催）

内容 アンケートの報告、愛知県・東京都の取り組みについて報告、グループ討議

3. 倫理委員会の体制の検討

1) 倫理委員会の組織体制の検討

2) 綱領・規程・内規案の検討・作成

4. 会計報告

収入の部	
繰越金	500 円
活動費	10,000 円
合計	10,500 円
支出の部	
合計	0 円
次年度繰越金	10,500 円

福祉領域委員会

担当理事：木元卓也（協力委員：大津秀隆・松田敦子・山本陽子）

2024 年度 活動報告

1. 児童福祉専門部会：大津秀隆先生

○児童福祉領域勉強会を開催

日時 2024 年 6 月 23 日（日）10：00～12：00

会場 オンライン

内容 参加者各々の業務についての情報交換
この勉強会の今後の進め方の検討

参加者 7 名

○2024 年度都道府県団体会員児童福祉担当者研修会 出席

日時 2025 年 1 月 13 日（月・祝） 10：00～16：00

会場 オンライン

2. 高齢者福祉専門部会：山本陽子先生

地域包括支援センターや行政機関が主催する、高齢者に関する研修会に参加し他職種と情報交換

3. 障害者福祉専門部会：松田敦子先生

障害児・者支援に携わる会員へのアンケートの実施

4. 会計報告

収入の部

繰越金	204,002 円
利息	109 円
活動費	40,000 円
合計	244,111 円

支出の部

研修費等	3,110 円
合計	240,891 円

産業・組織領域委員会

担当理事：篠田光臨・杉浦崇仁

2024 年度 活動報告

以下の事業について関係者・関連団体と連携して事業を実施した。

1. 教職員互助会『心の健康相談事業』
新規募集停止し、ガバナンス強化を検討。
2. 教職員共済組合『新規採用教職員訪問カウンセリング事業』
333名 78%の実施率 82%（最終的に過去最高）
事務作業軽減のため、配置案を産業・組織領域委員会が行い、カウンセラーが自身で日程調整を行う体制とした。ご協力ありがとうございました。
3. 研修の実施
山口県教職員メンタルヘルスサポート2事業 実践と課題
山口県教育庁教育政策課厚生班 穂枝優子氏
推薦基準や研鑽・研修の今後の方針 篠田光臨
実践発表
・こころの相談事業 実践報告 篠田光臨
・新規採用職員に対する職場訪問カウンセリング事業 実践報告 杉浦崇仁
・教職員のうつ病や休職者に対する集団CBT 活動紹介
山口県立こころの医療センター 桑本雅量
日時 12月22日(日) 人数 44名 方法 オンライン
4. 公益社団法人 山口県看護協会 看護職員メンタルサポート事業
(ア) ストレスコーチング 申し込みがあった時、随時相談対応
(イ) 看護管理者メンタルヘルス研修「看護職のメンタルサポート体制をアップデート」講師 篠田 杉浦 12月4日
(ウ) 出張による個別相談および院内研修（8月～12月）9施設（8病院1看護学校）
篠田杉浦で対応

《令和6年度会計報告》

収入	前年度より繰越金	63,512円
	県師会部会費	20,000円
	収入計	<u>83,512円</u>
支出	教職員共済組合会議(7月山口市・12月周南市篠田)	10,000円
	教職員共済組合会議(4・5月 山口市杉浦)	10,000円
	支出計	<u>20,000円</u>
	次年度繰越金	<u>63,512円</u>

司法矯正領域委員会

担当理事：脇貴典

2024 年度 活動報告

1. 研修会の開催

オンラインによる【司法矯正・被害者支援領域研修会】を実施した。講師派遣については、日本臨床心理士会の司法矯正領域心理臨床講師派遣の助成を受けた。研修概要は下記の通りである。

日時：2025年2月16日（日）

テーマ：「離婚紛争と子ども 家事司法の場での関与と課題」

講師：田高 誠先生（広島家庭裁判所）

2. 会計報告

収入の部

繰越金	0 円
活動費	10,000 円
合計	10,000 円

支出の部

活動費（会議等）	10,000 円
合計	10,000 円
次年度繰越金	0 円

災害支援プロジェクトチーム

担当理事：榎本俊哉・木元卓也

2024 年度 活動報告

日本公認心理師協会・日本臨床心理士会・都道府県等の心理職能団体との連携

- ・会議、研修会等への参加
- ・日本臨床心理士会 中国四国ブロック災害支援担当者懇話会への参加

*会計報告は全体の活動計算書に記載

自死予防専門委員会

担当委員：武田朋昭

2024 年度 活動報告

○山口県との連携

- ・山口県自殺対策連絡協議会参加
- 山口県自殺総合対策計画策定（第4次）

○心理支援者に対する支援

- ・ショールの会を企画運営（24年度の実施はなかった）

○会計

収入の部

繰越金	20,000 円
活動費	10,000 円
合計	30,000 円

支出の部

合計	0 円
次年度繰越金	30,000 円

ひきこもり対策専門委員会

担当委員：田中康之

2024 年度 活動報告

1. 研修会の開催

日時：2025 年 1 月 19 日（日）10：00～12：00 セミナーパーク
 講師：山根 俊恵 氏（山口大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授）
 内容：「ひきこもり（SDS 社会的距離症候群）の支援と理解～心理職に出来ることを考える～」
 参加人数 11 名

2. 日本臨床心理士会 都道府県団体会員「第 5 回ひきこもり担当者研修会」への参加

日時：2025 年 4 月 20 日（日）10：00～16：00
 場所：ZOOM によるオンライン開催

《2023 年度会計報告》

収入

前年度より繰越金	0 円
県師会委員会費	10,000 円
収入計	10,000 円

支出

講師お礼（ひきこもり研修）	3,114 円
支出計	3,114 円
次年度繰越金	6,886 円

事務局

担当理事：榊本俊哉（会長）・春日由美（副会長）・武田朋昭（事務局長）
松尾尚子（会計）／天辰佳代子（基礎研修）／杉浦崇仁（情報システム担当）

2024 年度 活動報告

会員の入会や退会手続き、会員名簿管理、会費管理、ホームページの管理と運用、山口県や日本公認心理師協会・日本臨床心理士会など各組織との連携、当会主催研修会のサポートなど運営事務を実施した。

【名義後援・共催】

山口県公認心理師協会 名義後援 2024年度

名称	主催	日時	場所
令和6年度 犯罪被害者支援 公開講座	山口被害者支援センター	2024/5/12	KDDI維新ホール
子ども講座6	チャイルドラインしものせき	2024年度	しものせき環境みらい館他
第31回 日本精神科看護専門学術集会 in 山口	日本精神科看護協会	2024/10/26~27	海峡メッセ（下関市）
日本精神科看護協会山口県支部創立60周年記念講演	日本精神科看護協会山口県支部	2024/10/25	海峡メッセ（下関市）
犯罪被害者週間 in 下関	山口被害者支援センター	2024/11/16	下関市民会館
第6回山口県認知症カフェサミット	山口県	2024/12/21	KDDI維新ホール ハイブリッド形式
令和6年度 妊活を考える集い	山口県（健康福祉部）	2025/2/16	山陽小野田 市民活動センター

山口県公認心理師協会 共催 2024年度

名称	主催	日時	場所
自殺予防教育ワークショップ	山口県精神保健福祉センター	2024/8/5	山口県セミナーパーク
母子保健領域における心理職との連携を図るための研修会	山口県医師会（母子保健委員会）	2025/3/9	山口県医師会 ハイブリッド形式

【山口県公認心理師協会から推薦した県委員会等の委員】（2025 年 4 月）

山口県公認心理師協会 県委員等一覧

委員会・会議等名称	名称	県師協担当者
山口県精神保健福祉協会	役員	榊本俊哉
山口県要保護児童対策地域協議会	委員	大津秀隆
山口県性暴力被害者支援検討会議	委員	榊本俊哉
山口県自殺対策連絡協議会	委員	武田朋昭
山口被害者支援センター	理事	春日由美
山口県被害者支援連絡協議会	会員	榊本俊哉
山口県犯罪被害者等支援施策評価委員会	委員	春日由美
山口県若者自立支援ネットワーク会議	委員	田中康之
山口県障害者介護給付費等不服審査会	委員	末次絵里子
山口県地域生活定着支援センター 福祉サービス等調整計画検討委員会	委員	永富徹志
山口県いじめ調査検証委員会	委員	末次絵里子
山口県いじめ問題調査委員会	委員	肥塚朋美
山口県いじめ問題等対策推進体制整備事業 F R アドバイザー	委員	武居奈緒子
山口県アルコール健康障害対策・ギャンブル等依存症対策推進協議会	委員	岡本博子
山口県女性支援調整会議 代表者会議	委員	榊本俊哉
山口県女性支援調整会議 実務者会議	委員	春日由美

【会計報告】

2024 年度は 120 万円程度の赤字決算となっているが、これは 2024 年度総会で承認された 150 万円の赤字予算に基づき、計画的に事業運営した結果となっている。また、先の会長任期（2020～2024 年度）3 年間を通して、山口県公認心理師協会の運営資金（2024 年度繰越金）は約 237 万円の増額となっており、対面研修の機会を増やすことや、基礎研修の充実をしていくことにより増額分を会員に還元していく方針とした結果でもある。実際に、2024 年度は上記の報告の通り、全体研修会 5 回に加え、基礎研修会を定期的に開催するなど、例年を大きく上回る研修機会を企画運営することができた。

山口県公認心理師協会 令和6（2024）年度 活動計算書

科目		合計	
I 経常収益			
1 受取会費（会員年会費）	3,156,000		
2 入会金	69,000		
3 事業収益	6,000		
4 受取利息	1,416		
5 その他	98,877		
経常収益計			3,331,293
II 経常費用			
1 事業費			
①研修事業			
講師謝金	1,240,000		
会員日当	143,000		
研修事務手当	61,100		
旅費交通費	102,610		
会場費	131,500		
消耗品費	148,049		
交際費	125,744		
研修事業費計		1,952,003	
②会議・出張事業			
人件費	869,000		
旅費交通費	40,380		
会議・出張事業費計		909,380	
③委員会事業			
通信運搬費	170,000		
委員会助成金	170,000		
委員会事業費計		340,000	
④他機関連携事業			
寄付金・会費	45,000		
他機関連携事業費計		45,000	
⑤緊急・災害支援事業			
人件費	52,000		
旅費交通費	76,860		
緊急・災害支援事業費計		128,860	
⑥その他事業			
	0		
その他事業費計		0	
事業費計			3,375,243
2 管理費			
人件費	978,900		
広報費（ホームページ運営費含む）	40,190		
旅費交通費	12,800		
通信運搬費	64,304		
消耗品費	22,000		
その他（手数料等）	29,666		
管理費計			1,147,860
経常費用計			4,523,103
当期経常増減額			△ 1,191,810
前期繰越正味財産額			3,697,805
次期繰越正味財産額			2,505,995

【監査報告】

監査報告書

私は、山口県公認心理師協会の 2024 年度（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで）の業務及び財産の状況について、決裁書類等を閲覧し監査を実施しました。

監査の結果、法令及び山口県公認心理師協会規約に違反する事実は認められません。また活動計算書は、山口県公認心理師協会の収支の状況を適正に表示しているものと認めます。

2025 年 4 月 6 日

山口県公認心理師協会 会計監査

高木香保子

2025 年度 山口県公認心理師協会 理事・協力委員

山口県公認心理師協会 理事・協力委員 2025年（総会承認以降）

理事会組織		理事	委員会組織	協力委員
事務局	会長	榊本俊哉		
	副会長	春日由美		
	事務局長	武田朋昭	アルバイト雇用	
	事務局	榊本俊哉		
	書記	榊本俊哉		
	会計	松尾尚子		
	研修企画	全理事		
	基礎研修	天辰佳代子・榊本俊哉		
	研修事務	榊本俊哉		
情報システム	杉浦崇仁			
委員会	医療保健領域	山野上典子	周産期医療	山野上典子
		永富徹志	アディクション専門	坂本珠恵
	教育領域	松尾尚子（理事）	地区委員会	地区委員
		原田梨沙 （コーディネーター）		
	被害者支援	春日由美		
	倫理	春日由美		
	福祉領域	木元卓也	児童福祉（ヤングケアラー）	大津秀隆
			障害者福祉	松田敦子
			高齢者福祉	山本陽子
	産業・組織領域	篠田光臨		
		杉浦崇仁		
司法矯正領域	脇貴典			

専門委員会	委員	
災害支援プロジェクトチーム	榊本俊哉・木元卓也	
自死予防専門委員会	武田朋昭	
ひきこもり対策専門委員会	田中康之	

監査	高木香保子
顧問	高田晃

* 2024 年度に承認されました理事・委員からの変更はありません。2025 年度も引き続き担当します。

* 会長を含め全ての理事が 2025 年度末に任期満了となります。ただし、2026 年度総会にて新理事が承認されるまでは現理事が協会の運営にあたります。

* 2025 年 12 月頃に会長選挙が実施されます。

研修

担当理事：全理事（主担当：榊本俊哉）／基礎研修（天辰佳代子・榊本俊哉）

2025 年度 活動計画

全体研修会については、「公認心理師の専門認定制度に関する研修機会」および「臨床心理士の資格更新に関する研修機会（4 群）」として申請していきます。

また今後も、対面研修会（2 ポイント）を基本として開催を検討していきますが、会員のみなさまのご要望を踏まえ、日本臨床心理士資格認定協会からの案内（2025/3/18 日付け）に基づき、オンラインでも 2 ポイントとなる要件を満たすことを前提として開催いたします。

なお、日本公認心理師協会の専門認定制度に関する単位数については研修証明書に記載の通りです。

【山口県公認心理師協会 2025 年度 第 1 回全体研修会】

期日：令和 7 年（2025 年）6 月 8 日（日）10:00～16:00

テーマ：「ナラティブ・セラピーに学ぶセラピストにもやさしい会話実践」

講師：坂本真佐哉先生（神戸松蔭大学）

【山口県公認心理師協会 2025 年度 第 2 回全体研修会】

期日：令和 7 年（2025 年）7 月 27 日（日）

テーマ：「今こそ学びたい暗示とトランス ～面接をより効果的にするために～」

講師：松原慎先生（まつばら心療内科）

【山口県公認心理師協会 2025 年度 第 3 回全体研修会】

期日：令和 7 年（2025 年）12 月 14 日（日）

テーマ：（子育て支援に関するテーマ）

講師：青木紀久代先生

【基礎研修会】＊基礎研修会はいずれも平日夜のオンライン開催を予定しております。

期日：令和 7 年（2025 年）8 月 22 日（金）19:00～21:00 オンライン開講

テーマ：「山口県の福祉現場における公認心理師のお仕事 ～多様な実践経験を聞こう～」

講師：大津秀隆先生・山本陽子先生

医療保健領域委員会

担当理事：山野上典子・永富徹志（協力委員：坂本珠恵）

2025 年度 活動計画

令和 7 年度（2025 年度） 活動計画

1. 研修会の開催

日時：令和 7 年（2025 年）7 月 27 日

講師：松原 慎 先生（まつばら心療内科）

内容：「今こそ学びたい暗示とトランス ～面接をより効果的にするために～（仮）」

2. 日本臨床心理士会団体会員 医療保健領域担当者会議
日時：令和8年（2026年）2月予定
内容：各県より取り組み報告・グループディスカッション等
3. 医療保健領域メーリングリストの活用推進
目的：医療機関の特色を知る
会員間の情報交換・交流の場を持つ
より便利なツールを用いて、さらに交流しやすく設定する
4. 事例検討会
5. 山口県医師会母子保健委員会 母子保健領域における心理職との連携を図るための研修会 共催
6. 令和7年度山口県エイズ派遣カウンセラー登録名簿の作成

教育領域委員会

担当理事：松尾尚子（理事）・原田梨沙（コーディネーター）

2025年度 活動計画

1) 委員会運営の発展的継続

SC活動の充実のため、適時委員会を開催する。また、下記地区委員を中心に地区別研修会のより一層の充実とSCの資質向上を目指す。緊急支援体制やSV体制の構築、全体研修会の企画等を積極的に行う。『思春期 Growing Heart Project』や『0年生教育相談事業』の推進、県教委との情報交換・協議等を行う。

○理事：松尾尚子 コーディネーター：原田梨沙

○下関地区委員【下関市】米田芙美子・前田夏子

○宇部・山陽小野田・美祢地区委員【宇部市・山陽小野田市・美祢市】平岡志保・榎本俊哉

○山口・防府地区委員【山口市・防府市】松尾尚子・高津あゆみ

○周南地区委員【周南市・光市・下松市】林光玉・武居奈緒子

○柳井・周防大島地区委員【柳井市・周防大島町・上関町・田布施町・平生町】松井優子・名村高美

○岩国地区委員【岩国市・和木町】原田梨沙・江藤紗矢香

○萩・長門地区【萩市・長門市・阿武町】三好謙一・武田朋昭

※下線はメイン地区委員

担当について：2025（令和7）年度担当

理事：松尾

コーディネーター：原田

研修(連絡協議会含む)：米田、前田、武田、三好、平岡（※地区委員全員で分担する）

会計：江藤

緊急支援：松井・名村

SV・新人研修：武居・林

推薦案：松尾、高津

事務局：榎本

2) 県教委との連携

SC 理事、SC コーディネーターを中心に SC 活動の維持・発展について随時協議・連携していく。

3) 新人・再任用者研修の実施

令和 7 年 3 月 30 日（日）9：30～10：30 山口県セミナーパークにて対面形式で実施。

県教委より所管説明

SC の基本的な働き方・SC 活動の実際について、研修やフォロー体制について等研修。

4) 教育領域委員会全体研修会の企画運営

令和 7 年度に 2～3 回の全体研修会を開催予定。

令和 7 年 3 月 30 日（日）11：00～15：30 県教委による所管説明・全体連絡協議会

山口県セミナーパークにて対面で実施。

令和 7 年 7 月 31 日（木） 県教育委員会・SC 連絡協議会

令和 7 年 12 月 14 日（日） 全体研修会 講師：青木紀久代先生

5) スーパーヴァイズ（SV）制度・新人研修の強化

スーパーヴァイザーの確保および相談しやすい体制を構築し、自らの力量を高めることができる制度の構築を図る。また、人材育成の観点から、新人研修の教科やフォロー体制を整えることとする。

6) 予算案

（収入）

繰越金 1,034,878

会員会費 1,051,440

計	2,086,318
---	-----------

（支出）

運営費 200,000

研修費 300,000

会議費 450,000

予備費 70,000

計	1,020,000
---	-----------

被害者支援委員会

担当理事：春日由美

2025年度 活動計画

1. 公共機関の委員

- ・山口県被害者支援連絡協議会
- ・山口県犯罪被害者等支援施策評価委員
- ・山口県女性支援調整会議

2. 民間被害者支援団体の委員

- ・公益社団法人山口被害者支援センター（理事）

3. 関係機関の被害者支援活動への協力

- ・山口県警察犯罪被害者等支援事業（登録カウンセラー20名）
- ・山口県性暴力被害者支援事業（登録カウンセラー23名）
- ・山口県被害者支援連絡協議会分科会性犯罪被害
- ・山口県被害者支援連絡協議会分科会DVストーカー被害
- ・山口県被害者支援連絡協議会分科会被害少年分科会

4. 日本臨床心理士会被害者支援担当者会議等への参加

5. 予算案

収入の部

繰越金	25,190円
活動費	10,000円
合計	35,190円

支出の部

資料代（書籍）等	10,000円
予備費	25,190円
合計	35,190円

倫理委員会

担当理事：春日由美

2025年度 活動計画

1. 倫理問題への対応：倫理問題の訴えがあれば、速やかに調査・対応をしていく。
2. 日本臨床心理士会 倫理担当者会議・研修会が開催される場合、出席する。
3. 予算案

収入の部

繰越金	10,500円
活動費	10,000円
合計	20,500円

支出の部

予備費	20,500円
合計	20,500円

福祉領域委員会

担当理事：木元卓也（協力委員：大津秀隆・松田敦子・山本陽子）

2025年度 活動計画

児童福祉専門部会：大津秀隆

①都道府県団体会員児童福祉担当者研修会出席

②児童福祉部会勉強会の企画・実施

③活動現場で知りたいこと、困りごとなどに対する情報交換会

④発達検査についての勉強会、及び保育現場での指導助言のあり方についての勉強会

⑤児童福祉領域で活動をされている会員の把握

《保育カウンセラー》や《乳幼児健診、発達相談等》に新規に参入される会員のサポート体制の検討
保育カウンセラー事業についての理解を求めるため、行政への啓蒙・現場への啓蒙を図る

高齢者福祉専門部会：山本陽子

①全体研修会開催に向けての準備

②高齢者支援について、会員に広く知ってもらうための課題の洗い出し

③高齢者支援に関わりのある会員と、交流や情報交換を行うための交流会や勉強会の企画・開催

障害者福祉専門部会：松田敦子

①障害福祉領域で活動をされている会員の把握

②交流会等によるネットワークづくり

③障害福祉や障害理解に関する勉強会の開催

④交流会や勉強会で意見交換の場を持ち、障害福祉領域で心理職に期待されていることや必要なスキルは何かをともに考え、よりよい多職種連携を検討していく

4. 会計報告

収入の部

繰越金 240,891 円

活動費 40,000 円

合計 280,891 円

支出の部

活動費(勉強会) 50,000 円

合計 230,891 円

産業・組織領域委員会

担当理事：篠田光臨・杉浦崇仁

2025 年度 活動計画

1.教職員互助会『心の健康相談事業』

2.教職員共済組合『新規採用教職員訪問カウンセリング事業』

①研修会の実施 1.2 の事業に対する研修やフォロー体制、ガバナンス強化を図る研修

【日 時】 令和 7 年 5 月 31 日（土）10：00～14：00

【会 場】 山口県教育会館 山口県山口市大手町 2-18 研修室 2

【研修テーマ】 山口県教職員メンタルヘルスサポート 2 事業 事業説明・研修会

【プログラム】

所管説明	山口県教育庁教育政策課厚生班	穂枝優子氏
	今後の当会としてのルール方針	注意事項
	情報交換	

②1.2 の事業等に対する相談窓口・フォロー体制を設置（産業組織領域理事・会長）

③研修会や情報交換の開催

産業労働分野の基礎やコンピテンシーに関するものや 2 事業に関するもの

3.公益社団法人 山口県看護協会『令和 7 年度看護職員メンタルサポート事業』

- ①個別相談についてはその都度対応、②年間 7 施設への訪問型相談
②看護管理者職員研修 7 月

心理職が活躍できる職域拡大にむけて、引き続き県内の企業や各種団体との信頼関係づくり、研修依頼への対応を行います。

また、ストレスチェックの全企業への義務化の方針が閣議決定されたことをうけ、動向をふまえ情報収集や対応できる人材育成に関する研修が必要なのかも検討している。

司法矯正領域委員会

担当理事：脇貴典

2025 年度 活動計画

1. 日本公認心理師協会・日本臨床心理士会との連携
 - ・会議、研修会等への参加
2. 関連学術大会等における情報収集
 - ・会議、研修会等への参加
3. 予算案

収入の部

繰越金	0 円
活動費	10,000 円
合計	10,000 円

支出の部

活動費	10,000 円
合計	10,000 円

【専門委員会】

災害支援プロジェクトチーム

担当委員：榎本俊哉・木元卓也

2025年度 活動計画

1. 災害支援活動
 - ・県外支援：災害発生時には、日本公認心理師協会・日本臨床心理士会、並びに他都道府県公認心理師協会・臨床心理士会等の心理職能団体と協働して、心理支援活動に当たる。
 - ・県内支援：災害発生時には、災害支援プロジェクトチーム内に、当会会員からなる対策本部を組織し、県師会の各委員会と連携して、当該地域のスクールカウンセラー等の公認心理師・臨床心理士の後方支援を行う。また、必要に応じて直接支援も行う。
2. 日本公認心理師協会・日本臨床心理士会・他都道府県の心理職能団体との連携
 - ・会議、研修会等への参加
 - ・日本臨床心理士会 中国四国ブロック災害支援担当者懇話会への参加

3. 研修会の開催

- ・ 会議、研修会等の開催

自死予防専門委員会

担当委員：武田朋昭

2025 年度 活動計画

○山口県との連携

- ・ 山口県自殺対策連絡協議会に参加
- ・ 山口県健康増進課との連携する

○心理支援者に対する支援

- ・ 自死関連の心理支援者に対する Debriefing の会（ショールの会）を企画運営。
- ・ 要請があれば開催予定。全体での開催を企画予定

○県師会各委員会との連携

- ・ 各領域の理事と連携を行い、自死予防に対する情報提供などを行なっていく

○会計

収入の部

繰越金	30,000 円
活動費	10,000 円
合計	40,000 円

支出の部

活動費	5,000 円
ショールの会運営費	10,000 円
合計	15,000 円

ひきこもり対策専門委員会

担当委員：田中康之

2025 年度 活動計画

- 1 日本臨床心理士会都道府県団体会員ひきこもり担当国会議出席
- 2 山口県若者自立支援ネットワーク会議出席
- 3 ひきこもり対策に関わる会員の把握およびネットワークの構築
- 4 ひきこもりをテーマにした研修会の開催
開催日令和7年度中 ひきこもりハンドブックをテーマにした研修会を開催予定
日本臨床心理士会に講師の紹介を依頼中

事務局

担当理事：榊本俊哉（会長）／春日由美（副会長）／武田朋昭（事務局長）
松尾尚子（会計）／天辰佳代子（基礎研修）／杉浦崇仁（情報システム担当）

2025 年度 活動計画

・下記の予算（案）の通り実施できるよう、各種事務を行う。

なお、収入の根拠となる 2025 年 4 月 1 日時点での正会員数は 387 名、準会員数は 30 名です。

正会員数は 2024 年 4 月 1 日時点（402 名）より 15 名減となっておりますが、以降すでに 10 名程度の新入会者がある状況です。

【2025 年度予算（案）の概要および運営方針】

先の会長任期（2020～2024 年度）3 年間を通して、山口県公認心理師協会の運営資金（2025 年度繰越金）は約 237 万円の増額となっており、対面研修の機会を増やすことや、基礎研修の充実をしていくことにより会員に還元していく方針としている。

2025 年度は 60 万円程度の赤字予算としている。赤字分のうち 40 万円分については、「緊急・災害支援事業」20 万円、「ホームページシステムの改修」10 万円、会長選挙関連予算 10 万円等、必要に応じて運用するために予算に幅をもたせるためのものである。残りの赤字分 20 万円分については前会長任期繰越金の増額分残額（約 20 万円）から今年度の研修の充実に充てる予算である。つまり、この予算案どおりに運用することで 2025 年度末には 20～30 万円程度の赤字が想定され、前会長任期繰越金を現会長任期の 3 年間で研修機会の増加を通して会員のみなさまに還元することとなる。

なお、事務局及び各委員会の理事及び協力委員に 1 年あたり 13,000 円の手当と 10,000 円の通信費（郵送料・携帯電話代等）を予算案に計上した。理事会は年 4 回の定例開催とし、当会規約に基づく経費を計上した。

山口県公認心理師協会 令和7（2025）年度 活動予算書

科目		合計	
I 経常収益			
1 受取会費（会員年会費）	3,186,000		
2 入会金	60,000		
3 事業収益	10,000		
4 受取利息	1,000		
経常収益計			3,257,000
II 経常費用			
1 事業費			
①研修事業			
講師謝金	800,000		
会員日当	130,000		
研修事務手当	50,000		
旅費交通費	120,000		
会場費	120,000		
消耗品費	150,000		
交際費	50,000		
研修事業費計		1,420,000	
②会議・出張事業			
人件費	800,000		
旅費交通費	40,000		
会議・出張事業費計		840,000	
③委員会事業			
通信運搬費	170,000		
委員会助成金	170,000		
委員会事業費計		340,000	
④他機関連携事業			
寄付金・会費	50,000		
他機関連携事業費計		50,000	
⑤緊急・災害支援事業			
緊急・災害支援準備金	200,000		
緊急・災害支援事業費計		200,000	
⑥その他事業			
会員活動助成事業	30,000		
その他事業費計		30,000	
事業費計			2,880,000
2 管理費			
人件費	800,000		
広報費（ホームページ運営費含む）	100,000		
旅費交通費	10,000		
通信運搬費	80,000		
消耗品費	20,000		
その他（手数料等）	30,000		
管理費計			1,040,000
経常費用計			3,920,000
当期経常増減額			△ 663,000
前期繰越正味財産額			2,505,995
次期繰越正味財産額			1,842,995

報告・お知らせ

【臨床心理士資格更新のためのポイントに関するご案内】

山口県公認心理師協会主催研修会については、4 群として日本臨床心理士資格認定協会へのポイント申請をしております。当協会の研修機会については、臨床心理士の資格更新時に対面研修 2 ポイント、オンライン研修も 2 ポイントの要件を満たす形式にて開催しております。承認番号についてはホームページの該当の研修会案内ページに掲載しておりますのでご確認ください。

また、資格更新のためには 5 年間に 1 回以上は 1 群または 2 群対象の研修機会をもつ必要がありますので、以下の例を参考に計画的に 1 群または 2 群となる研修機会をご活用くださいますようお願い申し上げます。

1 群ポイント（日本臨床心理士資格認定協会主催研修会）の取得例

- ・臨床心理士オンライン研修
- ・臨床心理士研修会
- ・心の健康会議

2 群ポイント（日本臨床心理士会または都道府県臨床心理士会主催研修会）の取得例

- ・「日本臨床心理士会」主催研修会
 - ・都道府県「臨床心理士会」主催研修会
- （＊2020～2021 年度は特例によりウェブ研修会も対象）

上記の 1～2 群の他、心理臨床学会などの諸学会（3 群）への参加、当会主催研修会（4 群）への参加により 3 領域以上、計 15 ポイントあれば資格更新のための基準を満たすことになります。

【ご案内】

研修機会として 1 群ポイントとなる日本臨床心理士資格認定協会主催のオンライン研修が始まっております。この 1 群ポイントと心理臨床学会など学会参加の 3 群ポイント、山口県公認心理師協会の 4 群ポイントの取得で資格更新のための基準を満たすことが可能です。

【山口県公認心理師協会としての各機関への加入状況について】

- ・公益社団法人 日本公認心理師協会 連携団体
- ・一般社団法人 日本臨床心理士会 団体会員